区政を聞く一般質問（要旨）

詳しい内容は、会議録（8月下旬発行予定）をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー（区役所3階）、図書館などでご覧になれます。

葛飾区議会公明党

地方創生臨時交付金の活用と高砂地域周辺の交通環境の充実を

新型コロナウイルス感染症対応

地方創生臨時交付金の活用

問 国が決定した「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」に係る新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の拡充分を活用し、物価等の動向も想定しながら、生活者や事業者に向けた対策を講じていくべきと考えるが、区の見解を伺う。

答 当初予算で計上したかつしかプレミアム付商品券の発行や、新型コロナウイルス対策持続化支援・借換融資にこの交付金を活用することで、生活者や事業者を支援していく。また、第1次補正予算案に計上した、区独自分の国給付金支給対象外の児童手当受給世帯への1万円の給付金や、学校給食費の公費補助の増額などへの活用を検討していく。

※他の質問項目　学校給食食材購入費に対する公費補助

高砂地域周辺の交通環境

問 高砂駅南側地域においても北側地域で行った交通アンケートなどを実施し、地域の特性やニーズを踏まえながら、改善に向けた取り組みの検討や対策をしていくべきと考えるが、区の見解を伺う。

答 高砂駅南側地域は、バス路線の充実に向けて検討する地域に該当しており、バス以外の小型車両の活用による鉄道駅に向かう路線を検討することとしている。今後は、高砂駅北側地域で行ったようなアンケートの実施などにより、日常生活における具体的なニーズを把握分析した上で、導入できる交通手段を整理し、解決策を考えていくことが重要だと考えている。

※他の質問項目　高砂駅北側地域の今後の対応等　など

他の質問件名　中小企業におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進、福祉施設におけるBCPの策定に関する支援の進捗状況等

児童相談所設置への取り組みとヤングケアラーへの支援拡充を

児童相談所設置

問 児童相談所の設置に併せ、子どもの権利擁護の仕組みづくりをどのように進めていくのか、区の見解を伺う。

葛飾区児童相談所イメージパース

答 児童福祉審議会に子どもの権利擁護に関する部会を設置し、子どもからの相談や権利侵害に対する調査や審議体制を構築していく。子どもの権利を守るための仕組みづくりに当たっては、幅広い世代および関係団体への意見聴取を行い、区の実情を踏まえた仕組みをつくっていく。

※他の質問項目　虐待を未然に防ぐための方策　など

ヤングケアラーへの支援拡充

問 ヤングケアラーを支援する調整役としてのヤングケアラー・コーディネーターの配置に関して、区の見解を伺う。

答 ヤングケアラーへの支援に当たっては、家庭全体での課題を捉えた情報収集・分析から継続支援までを含め、分野の垣根を越えた多機関での連携が前提となり、コーディネーターのような調整機能が必要になる。今後は、どのような方策が円滑な支援などにつながるかを検討し、調整機能も含めた支援体制の構築を関係部署と連携して進めていく。

※他の質問項目　ヤングケアラー支援策　など

他の質問件名　がん検診、HSCなどの配慮を要する子どもたちへの対応

かつしか区民連合

水と緑のまち・持続可能なまちを目指し地域資源の活用を

都市計画マスタープランと水と緑に関わる環境整備

問 都市計画マスタープランにおける水辺や河川周辺に対する認識と課題は何か伺う。

中川七曲り

答 平時には憩いの空間として、震災時は避難場所などの拠点としての機能を担っていると認識している。水辺や河川をより身近に感じられる空間にしていくことが課題である。水辺を公共空間などを活用した地域活動を促進するエリアに位置付けるなど身近に水辺に親しむことができる環境整備について検討を進めていく。

※他の質問項目　緑とオープンスペース基本計画の見直しの検討　など

持続可能な文化・芸術の振興

問 区民参加や文化・芸術の専門的な視点を取り入れ、多分野の横串を刺した総合的な計画または指針などを持つ必要性を強く感じるが見解を伺う。

答 文化芸術基本法では、映画や漫画などのメディア芸術を含めた文化芸術の振興に加え、観光、街づくりなど幅広い分野を取り込んだ施策の推進が求められる。今後は全庁で活用できる区の基本方針を策定していく。

※他の質問項目　葛飾漫画賞　など

将来を担う子ども・若者を社会全体で支えるための総合的な計画

問 子ども・若者のさまざまな課題に対して包括的な支援体制を構築するための総合的な計画の策定が必要であり、検討すべきと考えるがどうか。

答 課題は多岐にわたり、解決に当たっては社会全体の中で、継続的横断的な支援を行っていく必要がある。妊娠期から若者に至るまでの切れ目のない支援の流れが具体的に示せるような計画の策定を目指していく。

※他の質問項目　子どもの権利　など

現状を踏まえた子育て支援策の展開と広域避難対策を

自主的広域避難の推進

問 区民が自分の条件に合った広域避難先の選択肢を広げ、速やかな行動につなげることができる仕組みを区民に提供するべきではないか。

答 他自治体の事例などを参考にしながら、自主的な広域避難の推進策を検討していく。

※他の質問項目　災害対策基本法等の改正内容　など

電動アシスト付自転車の購入費助成の構築

問 二人乗り自転車等購入費助成事業の金額設定の見直し・改善が必要である。また、対象条件の緩和を図り、自転車活用を推進すべきではないか。

答 これまでも適宜見直しを行っており、今後も必要に応じて見直しを検討していく。また、助成対象条件の緩和については、制度の趣旨を踏まえた上で、関係部署とも協議をしていく。

※他の質問項目　電動アシスト付自転車の利用状況　など

乳幼児の予防接種

問 区外でかかりつけ医療機関にて、自費で任意の予防接種を受けた場合にも還付される仕組みにしていくべきではないか。

答 意義は認めるが、子どもの健康状態を把握しているかかりつけの医療機関で受けることが重要と考える。助成については、関係機関と協議しながら検討していく。

※他の質問項目　区が独自助成している任意予防接種の種類と根拠　など

他の質問件名　特定目的基金、葛飾区公契約条例の運用

日本共産党葛飾区議会議員団

異常な円安はアベノミクスの大失敗

物価高騰から区民のくらし、営業を守るための対策

問 内閣府の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、区の独自財源と合わせ、最大限の活用を求める。中小・小規模企業の営業を守るために、家賃などの固定費や光熱水費に使える現金給付を実施すべきと思うがどうか。

答 学校給食費公費補助の増額などへの活用を検討している。中小・小規模企業へは資金融資あっせんを行っており現金給付を実施する考えはない。

※他の質問項目　給食費無償化　など

新型コロナ対策

問 一時的な人材派遣よりも、保健師や看護師は直接雇用し、恒常的な保健所体制の強化が必要と思うがどうか。

答 さまざまな状況を踏まえて、必要な人員を最適な方法で確保する。

※他の質問項目　PCR等検査無料化

行政の契約や重要課題について説明責任を果たしていない問題

問 総合庁舎の移転には区議会での3分の2の議決が必要だが、いまだその議決はされていない。にもかかわらず広報かつしかで宣伝したことは大問題である。議会の手続きを軽視することは区民を軽視することと同じであり、区長にはその認識があるか。

答 総合庁舎整備と現庁舎・庁舎敷地の活用方針を策定したことに伴い、広報に掲載したもので、今後、条例案を区議会へ上程する。議会や区民を軽視しているという認識はない。

※他の質問項目　定期借地権　など

学校プール問題、水泳指導

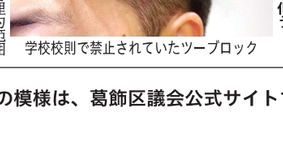
問 61校は引き続き、学校プールで水泳指導を行うのに、熱中症対策がおざなりになっている。これまでも遮光ネットの設置などを提言してきたが、どれだけ用意しているのか伺う。

答 各学校の状況に応じて、テントやだれなどの対策を講じている。遮光ネットは学校からの要望がなく、設置は考えていない。

※他の質問項目　健康診断　など

区立小中学校の校則等

問 児童・生徒の服装や髪型の制約に対して、教育委員会の考えを伺う。



学校校則で禁止されていたツーブロック

答 時代の変化に照らして、合理的範囲内で適切なルールとなるよう絶えず見直さなければならないと考える。

※他の質問項目　生理用品配備　など

他の質問件名　監査委員

自由民主党議員団

区民生活や区内経済の向上と我が街の活性化に向けて

事業の企画検討段階における経費

問 土地の取得をはじめ、特に大きな事業の企画検討段階における調査・研究に活用できる経費を予算に位置付けるべきと考えるが、見解を伺う。

答 多額の財源を要する事業については、事前に十分に調査・研究を実施しながら、投資以上の効果を地域にもたらすことができるかという視点から検討を進め、実施の可否などを判断すべきと考える。こうした調査・研究に基づき区議会と議論を重ねながら、未来の区の持続可能な発展に向けた政策決定を行っていけるよう、予算化に向けて積極的に検討を進める。

※他の質問項目　経費の活用分野や予算に位置付けるに当たっての課題

公契約のあり方とともに契約履行の事業評価と入札の関係

問 公契約を巡る区内の労働環境について、どのような認識があるのか。

答 労働環境全体として、ベテラン社員の高齢化、若手社員の離職問題をはじめとする労働人口の減少、いわゆる担い手不足が課題として挙げられている。特に、技能労働者の育成および確保に資する、労働環境整備を図っていく必要があると考えている。

※他の質問項目　実現への課題　など

地域活性と安心安全のためのサッカースタジアム建設

問 サッカースタジアムは、防災面や環境面などにも大きな効果があると考えるが、見解を伺う。

答 スタジアムは、スポーツの振興にとどまらず、区内商業や観光業をはじめ、雇用促進など地域経済を大きく活性化させるとともに、防災面、環境面からも大きな効果があると考える。今後も、候補地の選定や費用の調達方法、併設施設の活用などの視点から、引き続き検討を進めていく。

※他の質問項目　民間の活用　など

「歩きスマホ」による事故等の防止に向けた条例の制定

問 歩きスマホの事故等を削減するため、さらなる啓発が必要である。現在の啓発状況と今後の啓発の展開、事故等を防止する条例制定について伺う。

答 歩きスマホの危険性について、交通ルールやマナー啓発の一環として、広報紙などで啓発を行ってきた。今後は、小中高校生を対象にした交通安全教室において、歩きスマホの危険性を知らせるなど、啓発に取り組む。さらに、交通事故を引き起こす可能性のある危険な行為であることに鑑み、歩きスマホなどを防止する条例の制定を検討していく。

公共交通整備による街づくりと地域コミュニティーの活性化を

新金線を活用した公共交通の整備

問 早期旅客化の実現に向けて、国道6号以南の開通を先行して整備することを目指しているが、同時に国道6号以北から金町駅への開通を目指した具体的な計画を示さなければ、旅客路線としての価値が大きく失われてしまうと思うが、見解を伺う。

新金貨物線（高砂踏切）

答 新小岩から金町間の全線旅客化が実現することで最大限の効果が生まれることから、立体化も含めた国道6号との交差方法や金町駅舎などの改良など、全線旅客化を見据えた検討を進めるよう、指示している。しかし、国道6号との平面交差において、踏切における安全確保などさまざまな課題があり、時間を要することが見込まれるため、国道6号南側区間を先行的に整備することとした。

※他の質問項目　担当組織拡大　など

自治町会の活性化

問 自治町会加入率の現状と、マンション居住者への加入促進の取り組み状況について伺う。

答 令和3年度の自治町会加入率は56・9%となり、2年度の57・2%と比較して0.3ポイント減少の結果となった。マンション居住者の加入が進まないことも要因となっており、これまで指導要綱を制定し、建設事業者に協力を要請してきたが、令和4年10月施行予定の葛飾区集合住宅等の建築及び管理に関する条例に、自治町会への加入に関する事前協議などの内容を新たに盛り込んだ。

※他の質問項目　役員への支援　など

区民の健康づくりに向けた連携・協働

問 匿名加工情報によるビッグデータの活用も視野に、健康づくりに関わる各部局の情報連携・共有を図り、効果的な健康施策を展開していく必要があると考えるが、見解を伺う。

答 健康施策を展開していくには、各部局の連携が必要不可欠であると考えている。「健康長寿のまち、葛飾」の実現に向け各部署が連携し、一体的に取り組んでいく。また、パーソナル・ヘルス・レコードを用いたビッグデータの活用も必要なことと認識しており、国の動向を踏まえ、より有効な活用方法を検討する。

※他の質問項目　スポーツ活動の相談窓口の環境整備　など

他の質問件名　堀切橋・飯塚橋・平井大橋のバリアフリー化

無所属（※2）

不妊・去勢を最優先で進めノラ猫を減らすための制度設計を

飼い主のいない猫の助成制度

問 飼い主のいない猫を減らしていくには、不妊化が第一優先であるが、本区の制度では、不妊化した猫の適正管理をできる人がいない地域では繁殖が進んでしまう。区の見解を伺う。

保護された子猫

答 手術による繁殖の抑制だけが目的ではなく、飼い主のいない猫が引き起こすさまざまな問題を、地域の皆様に理解していただくことにより、動物と共生できる街づくりを目指す。

※他の質問項目　助成金額　など

医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律

問 保育施設での医療的ケア児の受け入れについて、積極的に取り組むべきと考えるが、区の見解を伺う。

答 受け入れ体制の確立は、公立保育園の役割の一つであると考える。課題を解消しながら積極的に行っていく。

※他の質問項目　今後の課題　など

引きこもり相談

問 当事者団体や関係団体とは連携を深めていく必要があると思うが、区の認識を伺う。

答 支援を行う地域活動団体と情報交換を通じて連携を深めるとともに、当事者団体と連携しながら、社会参加に向けた支援を目指していく。

※他の質問項目　ポスター製作　など

他の質問件名　総合庁舎の駅前移転整備及び立石駅周辺のまちづくり

無所属（※3）

積極的な観光戦略の取り組みと地元の声を取り入れた街づくり

インバウンド需要を見据えた観光戦略

問 観光により地域経済を活性化させるためには、インバウンド需要を取り込むことが重要だと考えるがどうか。

答 本区に着実に取り込んでいくことができるよう、情報発信をはじめとしたプロモーション活動を積極的に展開していきたいと考えている。今後とも、他地域に先んじて、インバウンド事業の戦略的な展開に向けて、民間事業者との連携などによる効果性の高い事業を推進していく。

リニューアルされパワーアップしたモンチッチ公園

※他の質問項目　海外に情報発信する場合の方策　など

新小岩駅南口地区の街づくり

問 新小岩駅南口地区は、再開発区域を含む南口地区全体に地区計画が定められているが、南口地区全体の街づくりの検討状況について聞く。

答 昨年度、西側地域の地権者を対象に街づくりの意向調査を実施し、今年度は勉強会を開催していく予定である。勉強会では、目指すべき将来像や街づくりの方向性などを議論いただき、地域の皆様の意見を伺いながら、南口地区全体で調和の取れた街づくりとなるよう取り組んでいく。

※他の質問項目　本組合設立に向けた進捗状況と今後の予定

他の質問件名　妊産婦、子育て世帯、子どもへの一体的な支援、SDGs推進計画策定の進捗状況

無所属（※6）

区民目線での申請手続きと学校での香害対策を

誰にもやさしい申請手続き

問 多岐にわたる区民サービスにおいて、現状の申請手続きが難しく、必要な区民にサービスが届いていない状況がある。申請者目線での改善を目指すべきと考えるが、区の見解を伺う。

答 手続きの担当部署において、平易な説明書きやフロアマネジャーの配置、外国語対応スタッフや翻訳機の活用など、引き続き区民第一の丁寧な対応に努めていく。

※他の質問項目　介護保険の高額介護サービス費

子どもの権利とその保障

問 子どもの権利に関する条例の策定について、区の見解を伺う。

答 幅広い世代および関係団体へ意見聴取し協議を重ね慎重に判断していく。

※他の質問項目　理解促進事業の活用

化学物質過敏症を引き起こす香害

問 化学物質の影響を受けやすい子どもを香害から守るため、保育施設はもとより学校現場での取り組みを優先すべきと考えるが、区の見解を伺う。

校庭で元気に遊ぶ子ども達

答 香害に悩む児童・生徒に対しては、給食配膳時に学校の予備白衣を貸し出す対応をしている例がある。子どもたちや保護者一人一人が香りについて周囲へ配慮することが求められる。今後学校現場と連携・協力し、香害に対する周知・啓発に努める。

※他の質問項目　担当部署　など

区政を聞く一般質問（要旨）　詳しい内容は、会議録（8月下旬発行予定）をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー（区役所3階）、図書館などでご覧になれます。